

れいわ ねんどなつやすみがくけんきゅうさくひんおよびはつめいくふうさくひん てびき 令和8年度夏休み科学探究作品及び発明工夫作品の手引き

ひたちなか市立高野小学校

【科学研究作品】

提出日 9月1日(火) 野帳・主論文・揭示物・標本(書類)・申込書を担任の先生まで

1 テーマを決めましょう

次のようにして、テーマを見つけてみましょう。

- (1) 学校で学習したことや、それに似たことをもっとくわしく調べてみる。
- (2) 毎日の生活の中で、「これはふしぎだ、めずらしい」と思ったことを調べてみる。
- (3) これまで研究したことを、さらに深めてみる。
- (4) 科学雑誌、自由研究の本、自由研究作品などからヒントを得る。

2 作りましょう

(1) 野帳

実験や観察の方法、実験や観察をした日時、天気、気温、使った器具、薬品などを記録しておく。ノートでよい。失敗したり、上手いかなかったりしたこともきちんと記録しておく。

(2) 主論文

研究をまとめる。横書きの原稿用紙などに書く。

研究題目 「・・・の観察」というよりは、「アメンボは色を見分けられるか」などと研究の中身が分かるように書くことよい。

※ 継続研究(過去の研究の続き)を行う人は、様式1を主論文の1ページ目に綴じ込む。

1 研究の動機(研究を始めたわけ)

○ どんなことに疑問や興味・関心をもったのかなどを書く。

2 研究の目的(仮説)

○ ねらいや調べることを具体的に書き、予想を書き入れる。

3 研究の計画

○ 器具や材料、研究の範囲、研究の期間(時期)などを書く。

4 研究の方法(実験のやり方、観察のしかた)

○ 実験法、観察法、手順などをくわしく、図なども入れて書く。

5 研究の結果(実験の結果、観察の結果)

○ 観測データ、観察記録をグラフ、表、写真などを入れてまとめる。

6 研究の考察(結果から考えられること)

○ データや観察の結果から得た事実をもとに考えられることを書く。

7 反省及び発展(反省とをもって調べたいこと)

○ 気づいたことや、これからさらに研究してみたいことなどを書く。

8 参考資料(調べるのに使った本)

○ 研究をまとめるにあたって、参考にしたものを書く。(本、図鑑、資料など)

(3) 掲示物

主論文の中で、みんなに知らせたいことを書く。図、表、グラフ、写真などを使ってまとめる。

〈まとめ方の一例〉

☆ **ラシヤ紙** 1枚にまとめる。たてながに使う。

※模造紙や画用紙など、**ラシヤ紙以外にまとめた作品は出品できないので注意**してください。
また、**立体的なものは掲示物に貼らないでください。**（うすいフェルトは可）



(4) 標本・資料（実験や観察に使った器具・用具など）の写真をもとめた書類

ノートなどにまとめ、それぞれの写真に
題と通し番号をつける。全ての題に研究題目を
組み込み、サブテーマをつける際には、全ての
写真につける。題の統一を！

〈例〉

通し番号

研究題目：海水から真水を取り出そう

1 海水から真水を取り出すそう

写真

※①野帳、②主論文、③掲示物、④標本・資料の写真をもとめた書類の4つが揃っていないと出品できません。申込書も記入し担任の先生に提出してください。また、QRコードを科学研究作品に載せても構いませんが、審査の対象とはなりません。作品展にいらした方に紹介する時に使うものとします。

【発明工夫作品】

提出日 9月1日（火） 作品・申込書・写真を担任の先生まで

- 生活や学習が便利になるものを作る。
- 今ある道具を、さらに便利になるように改良する。
- アイデアがうかんだらすぐメモをとり、家の人や先生に相談する。
- 実際に作ってみて、しっかり使えるかどうか確かめる。【大きさ】縦・横・高さともに1m以内、重量は20kg以内
※共同作品は3名まで。
- 実際に使えて、壊れにくいものを作る。
- 完成品と申込書・写真（実際に使っている様子など、使い方の分かる写真）を提出する。
※写真は申込書に貼らない。学校で貼ります。